

発掘成果をふりかえって 2001

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

2001年11月、研究所は設立25周年を迎え、リーフレット京都のバックナンバー合冊本『つちの中の京都2』を発刊しました。また、ホームページも開設しましたので、あわせてご利用下さい。



調査地点



1 平安京右京三条一坊三町 中京区西ノ京小倉町ほか

平安時代の役所「右京職」の北西角で、三条坊門小路と西坊城小路の交差する部分が見つかった。9世紀から10世紀のもので、築地跡が明らかにわかる。



2 平安京右京三条一坊三町 中京区西ノ京梅尾町

朱雀大路の西側溝と右京職の東築地が見つかった。写真中央には築地の柱列が並ぶ。出土した瓦の中には文字瓦や緑釉瓦もあった。



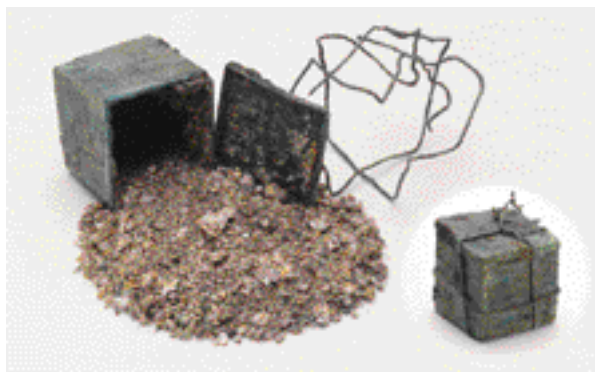
3 上ノ庄田瓦窯跡 北区西賀茂上庄田町

平安時代前期に営まれた、窯跡と作業場を含めた瓦工房の全容が明らかとなった。



4 平安京右京四条四坊十六町 右京区山ノ内西裏町

古墳時代前期の水溜め状遺構から木製品などが出土した。当地は古墳時代の遺物散布地である山ノ内遺跡に隣接している。



5 教王護国寺(東寺)境内・出土遺物 南区壬生通八条下る東寺町

立方体(一辺約4cm)の小箱の中には、白砂に混じって金・銀箔が入っていた。江戸時代後半の地鎮に関する遺物と思われる。



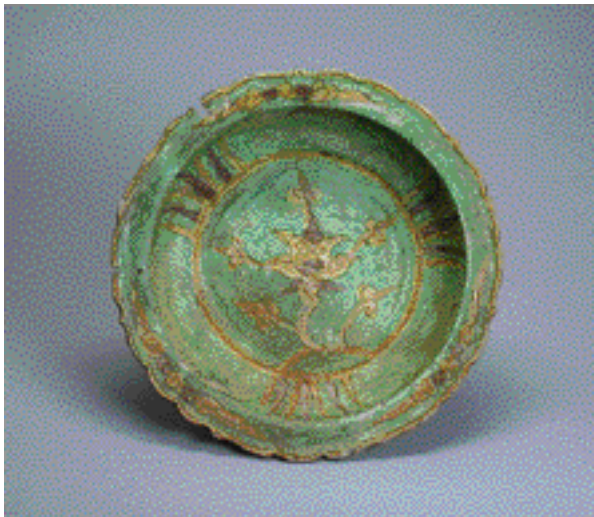
6 仁和寺院家跡 右京区花園土堂町

仁和寺の院家で初めて建物の全容が明らかになった。双ヶ岡の東、双池の北にあった浄光院の「千手堂」に当たると考えられる。



7 仁和寺院家跡 右京区花園土堂町

井戸から車輪の部材「輪木」が見つかった。平安時代後期から鎌倉時代のもので、木製車輪の出土は京都市域で初めてである。



8 曇華院跡・出土遺物 中京区東洞院通姉小路下る曇華院前町

江戸時代前半の土壌から出土した三彩刻花輪花盤。口径29cm・高さ5.9cmあり、色鮮やかに施釉された華南の焼き物である。



9 史跡旧二条離宮 二条通堀川西入る二条城町

二条城の創建時の石垣が見つかった。当初の西堀は、これまで考えられていたよりも約40m東側にあったことがわかった。



10 京都御所東方公家屋敷群跡 上京区京都御苑

2列の石組みは江戸時代前期の二階丁通の西側溝で、東側に路面が広がる。二階丁通は公家町を南北に延びる街路である。



11 京都御所東方公家屋敷群跡 上京区京都御苑

京都御所の建春門に近い調査区で、江戸時代中期の宝永の大火で焼けた公家屋敷跡が見つかった。